

県政活動報告

発行者/皆川いわお
〒400-0031 甲府市丸の内3-6-2
TEL 055-222-5313
FAX 055-233-3301
E-mail: minagawa@nns.ne.jp
<http://www.nns.ne.jp/pri/minagawa/>
YAHOO JAPAN 検索「皆川いわお」

豊かさを実感できるやまなし

皆川いわお県議「スポーツで地域活性化」

全国への調査・研修、国との連携も確立

皆川いわお県議は「東京オリンピック・パラリンピックの高まりを地域力にしたい」とし、ジュニアの育成、競技力向上についても提唱。甲府城跡の整備については「活用の視点が大切」と指摘。甲府中心市街地の活性化につなげたいと展望する。また、委員会の調査、研修は県内外におよび、国と連携した取り組みも活発だ。

教育厚生委員会

ジュニアの育成と スポーツ競技力の向上を

皆川いわお県議は六月の委員会で「ジュニアアスリートトータルスポーツ事業補助金」について質問し、ジュニアの育成、競技力向上を図るための補助、また高齢化のなかでの若手指導者の養成を訴えた。今後、令和十三年の招致を目指している山梨国体に向け、取り組みが強化されていく。



早期の整備が期待される「甲府城のお堀の復元」周辺は水辺のある「小江戸甲府」の風情となる

甲府城跡の整備 保存と活用の視点から

甲府城跡の保存、活用に関する基本方針が検討されている。このことについて皆川いわお県議は、保存ばかりに力点をおかず、活用の視点の重要性を訴えた。また、皆川いわお県議は十二月の委員会で「甲府城のお堀の復元」についてふれ、復元調査の現状をたどすとともに、積極的な対応を促した。



教育厚生委員会での皆川いわお県議
甲府城跡の整備は「保存と活用」の視点から検討されている

きた「お城フロント構想」であり、水辺の潤いを活かす、中心街と結ぶ回遊ルートも整備し、活性化をめざす。

看護協会と意見交換 スペシャリストの養成を支援

「先進な医療に取り組んでいきたい」と皆川いわお県議
医療機器が発達し、画像診断やロボットによる診断などもあり、看護師も高度な医療技術を要求されている。



教育厚生委員会は看護人材確保・育成をテーマに、公益社団法人山梨県看護協会の会員と意見交換。スペシャリストの養成について積極的に支援していくことを明らかにした。

災害対応力の強化 未然に防ぎ、早期の対応

大型の台風第一九号により、大雨特別警報が県内二〇市町村ではじめて発表された。県は台風の上陸前から災害対策本部を設置して事前準備を整え、また、発災後は災害復旧対策本部を設置。最速・最短の復旧を目指した。

今後も大規模災害に備え被害を可能な限り未然に防ぎ、発生した被害に早期に対応できるように、さまざまな取り組みを進めていく。



皆川いわお県議 委員会、調査、活動報告

◆全国をめぐる調査・研修
山梨の明日を創る

自民党誠心会 政務調査



総務省を訪ね「広域連携の取り組み」
「5G（第5世代移动通信システム）
実現に向けた取り組み」について研修
する皆川いわお県議

「定住自立圏構想」
山梨の新時代を確かなものに

自民党誠心会は十月、総務省を訪ね、山梨の二〇年後の展望と、「広域連携の取り組み」について調査、研修した。

日本の人口はピーク時には一億二千八〇〇万人だったが、二〇四〇年には一億一千万人に減少するとともに、六五歳以上の人口は増加し、年齢構造の変化が起

くる。児童生徒の減少により小規模校や廃校が増加する一方で、高齢者の医療介護ニーズは高まり、介護人材の需要ギャップは二〇二五年には三七、七万人に達する。労働力不足は顕著になり高齢者、女性、若者の労働参加を進める必要がある。社会資本（インフラ）も建設後五〇年以上を経過する施設（道路・橋等）が増加し、課題解決に取り組む必要がある。

こうした問題に対し、新たな広域連携を進めようというのが「定住自立圏構想」だ。この構想を推進し、地方における定住の受け皿を形成するなどの対策は重要だ。



参議院自民党堀井敏嗣幹事長と
国政との連携も整えられている

安心、安全な暮らし
防災対策へ県民の期待

地球温暖化にともない、地震や台風、大雨など、自然災害が頻発している。こうした防災対策への県民の期待を受け気象庁を訪問、防災気象、火山について調査、研修した。



気象庁で政務調査をする皆川いわお県議
富士山も活火山であり、二四時間体制で
観測が続けられている

議会運営委員会

香川・岡山県議会を訪問
議会の改革を調査

議会運営委員会は、今後の議会運営や、議会改革の参考とするため、香川県議



岡山県議会での調査

会と岡山県議会を訪問した。政策条例の制定や政策提言の状況、また、議会の活性化に向けた取り組みについて調査した。さらに、徳島県庁において、消費者庁誘致にかかわる経緯と、受け入れ体制など県の対応、消費者行政新未来創造オフィスの取り組み状況について、調査した。

地場産業の振興を調査
「児島ジーンズストリート」

皆川いわお県議と議会運営委員は、児島ジーンズストリート（児島商工会議所・岡山県倉敷市）を視察。地場産業の振興と地域創成の取り組みについて調査した。

児島地区は瀬戸内海に面した港町。塩分をふくむ土が稲作には向かず、綿花栽培が盛んになり、繊維産業の町として発展した。そして「国産ジーンズ発祥の地」となった。「ジーンズストリート」は町おこしの一貫で、空き店舗を利用し、飲食店などを含め、三〇店舗ほどのショップが並ぶ。レトロな町並みだ。

「富士の介」初出荷
山梨オリジナルの養殖魚

約十年をかけて開発した山梨オリジナルの養殖魚「富士の介」初出荷式が十月、

開催された。富士の介の応援団長を務めるさかなクンによる記念講演も行われた。



「山梨の魅力を広めていきたい」と皆川いわお県議